

信州メディカルネットのご案内

IT（情報通信技術）を用いた医療連携システム

《信州メディカルネットとは》

IT（情報通信技術）を用いて、長野県内の医療機関で電子カルテなどの診療情報を相互共有することができるネットワークシステム、地域に発生する診療情報を患者さんの同意のもと複数の医療機関で共有することによって、関連医療機関における検査、診断、治療内容を正確に理解し、自施設の診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。

《患者さんへのメリット》

- ・患者さんに関する情報共有が、迅速かつ詳細になります。
- ・限られた医療資源を、有効かつ適切に利用できます。

このシステムは、電子カルテが導入されている医療機関の患者に関して、紹介・逆紹介の際に迅速かつ詳細な情報共有を可能にします。（但し共有可能な情報は医療機関により制限があります）また、このシステムを利用させていただくには、医療機関ごとに患者さんの同意書が必要になります。患者さんには、このシステム利用に関して特別な費用の負担はありません。

当院は、「信州メディカルネット」へ2014年2月1日から加入（公開開始）しております。

病診連携を推進するうえで、情報共有は継続治療に有効であり患者さんも安心できます。また検査の重複を避けることにもなり医療費の縮減効果にも期待できます。電子カルテ未導入の医療機関様でもインターネット経由で参照が可能です。ぜひご加入のご検討をお願いいたします。

問合せ先：●あづみ病院 地域医療連携課 ☎ 0261-61-1455 または
●特定非営利活動法人 信州メディカルネット協議会（信州大学医学部附属病院内）
☎ 0263-37-3174

新規！病診連携登録医

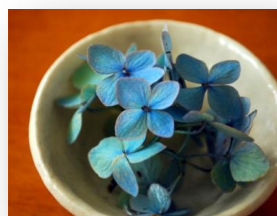
おかげさまで、当院の連携登録医制度に、下記の先生方に新規お申し込みをいただきましたのでご紹介いたします。今後末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。（7月末現在、病診連携登録医数63施設）

No.	医院・施設名	医師名	登録月
①	玉井医院	玉井 方貴	2015年6月
②	有明苑	神谷 仁	2015年6月
③	平林耳鼻咽喉科医院	平林 源	2015年7月
④	信濃内科循環器科医院	田中 正雄	2015年7月

『病診連携登録医募集のご案内』（地域の医療機関の先生方へ）

当院では、患者さんを中心とした地域医療を円滑に推進するため、地域の医療機関の先生方のご支援・ご協力をいただきながら、地域医療連携をさらに充実・発展・密なものとするべく『病診連携登録制度』を設けております。詳しくは、地域医療連携課へお気軽にお問い合わせください。

担当：三浦



北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

患者さんのご紹介等診療情報に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っています。

TEL(直通) 0261-61-1455、FAX(直通) 0261-61-1456

E-mail renkei@azumi-ghp.jp

受付時間 平日 8時30分～17時、土曜日 8時30分～12時30分（診療日に限ります）

連携室だより 2015年 8月発行 JA長野厚生連 北アルプス医療センター あづみ病院 〒309-8695 北安曇郡池田町大字池田 3207-1 編集発行/地域医療連携課 TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456



CONTENTS

- 地域連携懇話会
- 新任医師紹介
- その他
- お知らせ

あづみ病院理念

質の高い医療と社会への貢献をとおし、地域の皆さまから信頼される病院を築きます。

連携室だより

54

August 2015



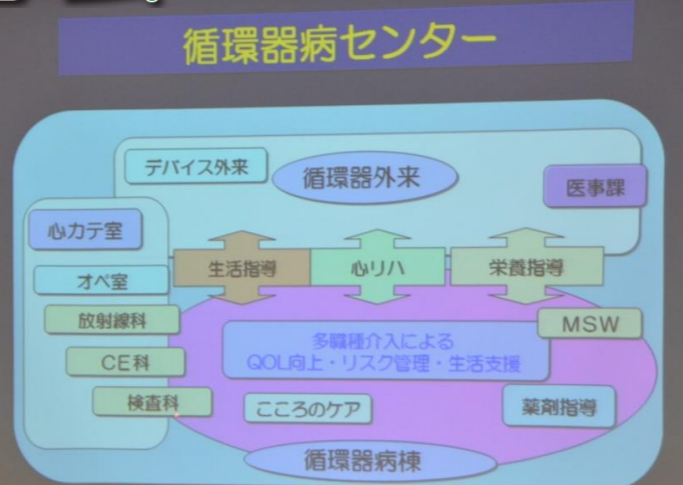
北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

（写真：建築中の新病棟からみた外来棟と中病棟）

第45回 地域連携懇話会



7月23日
 講演：「あづみ病院での循環器診療の現状と今後について」
 講師：あづみ病院 副院長 兼 循環器病センター長 兼 循環器内科部長
 富田 威 先生



7月23日、当院会議室において、第45回あづみ病院 地域連携懇話会を開催しました。新倉副院長から新病棟建築の状況説明、地域連携ディスカッションの後、新任医師紹介を行いました。引き続き、当院 副院長兼循環器病センター長兼循環器内科部長 富田威先生により「あづみ病院での循環器診療の現状と今後について」と題して講演を行いました。

当院循環器内科の通院患者さんは、高齢者の割合が多く、その中心不全の特徴として収縮能が保たれた心不全が多く、原因として高血圧が多数を占め、合併症として心房細動と貧血、睡眠時無呼吸症候群を有する割合が高いとのことでした。実際の症例をもとにカテーテルアブレーション治療の映像などの侵襲的治療方法、退院後の生活指導など詳細な説明をいただきました。また、7月から運用をはじめた循環器病センターの体制の説明もあり、講演後は医師、救急救命士から質問をいただき、よい情報交換の場となりました。

次回は10月開催を予定しておりますので大勢の先生方の参加をお待ちしております。(出席者数：院内外合わせ 86名) (地域医療連携課 山崎裕美)

新任医師紹介



狩野 修治
 (かのう しゅうじ)
 整形外科(医長)



出身大学 専門医等 所属学会

- ◆信州大学(平成17年3月卒)
- ◆専門医等：日本整形外科専門医
- ◆所属学会：日本整形外科学会 日本人工関節学会 骨折治療学会 中部日本整形外科災害外科学会 日本リハビリテーション学会

◆7月1日よりあづみ病院で整形外科として勤務している狩野修治と申します。出身は群馬県渋川市で伊香保温泉・水沢うどんなどで有名なところです。1998年に信州大学に入学、以来長野で暮らし、気付けば故郷ですごした時間より長野で暮らした時間のほうが長くなっています。骨折などの外傷や下肢の疾患を中心に整形外科医として地域の皆様のお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

植込み型補助人工心臓勉強会

7月16日 植込み型補助人工心臓勉強会
 講師：信州大学医学部附属病院 循環器内科 元木 博彦 先生
 西8階病棟 副看護師長 両角 光市 先生



先日、信州大学の相談員さんから「3月から人工心臓を用いた治療が開始となり、今後その人工心臓を装着されその方々がそれぞれの地域に帰られます。退院に際して、十分に患者教育・家族指導は行いますが、最寄りの訪問看護ステーションの介入もお願いしたい。是非、医療チームの一員として関わり人工心臓を装着された方が安心して地域で生活できるように連携をとっていただきたい」というお話をいただきました。

訪問看護としても、意向に沿いたいという気持ちでございましたが全く人工心臓についての知識がないため、私たちが介入することでメリットがあるのだろうか、何ができるのだろうか、と不安な気持ちでいっぱいでした。

しかし今回の勉強会を当院で開催していただいたので、病院スタッフ、ステーション看護師、ソーシャルワーカーなど多職種、また地域の事業所・消防署の方などが一堂に参加することができました。講義の内容もわかりやすく、何よりも実物の装置も準備していただけたので、イメージしながら理解することが出来ました。

医療技術が進歩していく中、私たちが常にさまざまな情報をキャッチし、医療者としての役割や地域での役割を明確にし、活動していかなければならないということ再認識しました。「保健・医療・福祉のつながりが大事」とよく耳にする言葉ですが今回はまさに、高度医療を提供する病院と地域の病院、そして患者の住む地域がつながった瞬間ではなかったかと思えます。私たち訪問看護師は、微力ながら、まずはご本人・ご家族から身近な相談を受けること、寄り添うことから始めればいいのか、装置の事は逆にご本人から教えていただくこともできるのだと気付くことができました。お忙しい中、勉強会に出張していただいた信大の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。またこのような機会があれば参加していきたいと思えます。(出席者数：院内外合わせ 123名)

(訪問看護ステーションあづみ 田中夏江)



日野 雅仁
 (ひの まさひと)
 整形外科



出身大学 専門医等 所属学会

- ◆信州大学(平成24年3月卒)
- ◆所属学会：日本整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会

◆7月よりあづみ病院でお世話になっております。茨城県出身で、信州大学に入学して以来、長野県で過ごしています。趣味はバスケットボールで、休日は所属している社会人チームで体を動かしています。整形外科医としてはまだまだ未熟な点が多くありますが、このあづみ病院で一生懸命研修をし、少しでも地域のお役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。